

図書館だより 3号



9月

令和2年9月14日

第一日暮里小学校

校長 白井 一之

学校図書館プロジェクト

みの あき 実りの秋

9月27日の運動会に向けて、練習が始まりました。スポーツの秋、勉学の秋、食欲の秋。何をするにも一番よい季節の「秋」だからこそ、「実りの秋」を目指して、自分が興味をもったことにすすんで挑戦してほしいと思います。そして、素敵な「読書の秋」にもなるよう、2学期は今まであまり読んだことのないジャンルの本や、ページの多い物語を読むなど、読書もぜひ楽しんでください。

なつやす どくしよおう はっぴよう 夏休み読書王!発表!!

今年の夏休みは、いつもより短い夏休みでしたが、たくさんの方が「夏休み読書王」にチャレンジしました。1・2年生は、20冊以上、3～6年生は、1000ページ以上読んだ人に「読書王」の賞状が渡されました。各学年多い順に第2位まで紹介します。

1学年	Sさん (34冊)	Tさん (20冊)
	Aさん (20冊)	Tさん (20冊)
	Iさん (20冊)	Nさん (20冊)
	Oさん (20冊)	Hさん (20冊)
	Kさん (20冊)	Hさん (20冊)
	Tさん (20冊)	Mさん (20冊)
	Tさん (20冊)	Mさん (20冊)
2学年	Sさん (40冊)	Oさん (21冊)
3学年	Mさん (4061ページ)	Iさん (3946ページ)
4学年	Oさん (3652ページ)	Sさん (3631ページ)
5学年	Hさん (4547ページ)	Kさん (2237ページ)
6学年	Iさん (3733ページ)	Aさん (2647ページ)

おすすめの本



毎日暑い日が続きますが、一息つくとき、図書館で読書はいかがですか。新しい本が届いています。

★『お金でほんとうに幸せになれる?』

NHK Eテレ「Q~こどものための哲学」制作班/編 ほるぷ出版

「お金があれば幸せ」と信じていたQくんは、チツチに「ほんとうに?」と問いかけて幸せについて考えます。Qくんと一緒にうたがって考えてみると、自分の本当の気持ちに気づくことができるかもしれません。

★『なぜ? どうして? かがくのお話 1年生』 大山光晴/総合監修 学研プラス

「どうして太陽は明るい?」「どうしてかぜをひくの?」など、身の回りの「はてな」がわかります。学年ごとの分冊になっていて1話が短いので、ちょっと読書にぴったりな科学の本です。

★『シノダ! 夢の森のティーパーティー』 富安陽子/著 大庭賢哉/画 偕成社

信田家のママはキツネです。そのせいで一家はしょっちゅうトラブルにまきこまれます。お菓子の家の夢をみた信田家の長女ユイは不思議なできごとを体験しますが…。

シノダ!シリーズの最新刊です。



★『なぜ僕らは働くのか』 池上彰/監修 学研プラス

私たちが生活をするとき、そこには必ず人と人とのつながり合いや助け合いがあり、自分ではできないことを他の人がする「仕事」に助けられています。「働く」「生きる」ことについて池上彰氏がわかりやすく解説しています。

★『宇宙人っているの?』 長沼毅/作 吉田尚令/絵 金の星社

近年、宇宙の研究が進み、地球や宇宙のことがさらにくわしくわかってきました。陸地のない惑星や油の海が広がる惑星など、それぞれに適した生きものが進化してすんでいるかもしれません。その姿を想像しながら読んでみるのも楽しそうです。

すべての読書家さんへ リーディングトラッカーを用意しました

本を読んでも集中できず何度も読み返してしまうことはありませんか?そんなときのお助けグッズ「リーディングトラッカー」を学校図書館にも用意しました。使い方はとても簡単。文章の読みたい行にリーディングトラッカーを当てるだけです。当てた行に視点を集中でき読みやすくなります。図書館内で利用できます。

気になる人は学校司書に声をかけてください。

